

予算	款	項	目	決算書
	11	2	1	318 頁

目 名
道路橋梁災害復旧費

事業名称
道路橋梁災害復旧事業

1. 概要

目的	対象	事業概要
道路及び橋梁災害の復旧	市民	○補助災害復旧事業・・・5件(うち4件契約繰越) ○単独災害復旧事業・・・12件(うち2件契約繰越)、崩土除去等→476路線 ○道路橋梁災害復旧事務費・・・道路橋梁災害復旧事業に係る事務費

臨／経	細事業名称	事業内容（主な経費等）		予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
臨時	補助災害復旧事業	道路橋梁災害復旧	工事請負費	51,150	1,397	931			466	3
臨時	補助災害復旧事業 (H24繰越)	道路橋梁災害復旧	工事請負費	31,962	24,969	17,521	7,300		148	3
臨時	単独災害復旧事業	道路災害復旧	委託料	32,214	31,744				31,744	3
臨時	単独災害復旧事業 (H24繰越)	道路災害復旧	工事請負費	1,038	871				871	3
臨時	道路橋梁災害復旧事務費	消耗品費 等	需用費	626	405				405	3
計				116,990	59,386	18,452	7,300	0	33,634	

2. 指標設定

成果指標	指標名	道路及び橋梁災害の復旧		目標年度	—	指標の設定理由				
	数値	—				台風等により被災した道路及び橋梁の早期復旧のため				
活動指標	指標	a	復旧率		b			c		
	数値	目標	100%		目標			目標		

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H 2 3	H 2 4	H 2 5
道路及び橋梁災害の復旧		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H 2 3	H 2 4	H 2 5
a 復旧率	%	100.0 %	67.5 %	100.0 %
b		—	—	—
c		—	—	—
d		—	—	—

4. 課題と対応

課題
特になし。
対応（改善点等）
—

5. 事業費・・・H 2 3～H 2 5（決算額）、H 2 6（予算現額）

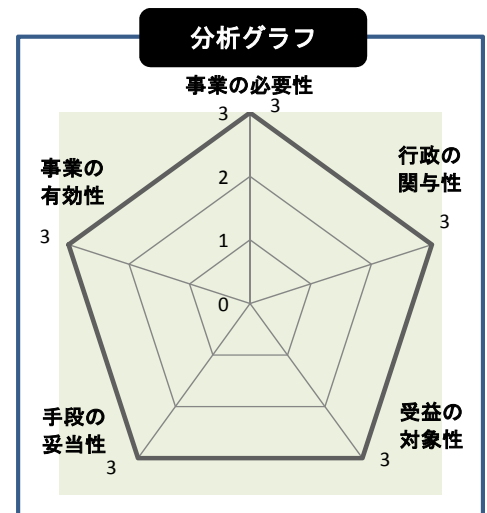
決 算 額（千円）		H23	H24	H25	H26
うち経常経費		58,064	83,034	59,386	62,141
財源内訳	国 費	22,562	38,036	18,452	33,350
	県 費				
	市 債	11,200	17,860	7,300	16,600
	そ の 他				
	一般財源	24,302	27,138	33,634	12,191
うち経常					
事業費に係る人件費		14,018	10,391	10,897	10,202
事業費に係る人役		3.26	2.42	2.50	2.30

6. H 2 7 年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
気象状況により災害発生の予測が不可能である。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 市道（橋梁）の災害復旧である。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 市道（橋梁）の災害復旧である。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 市民が利用する市道（橋梁）の復旧である。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 適切な手段である。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 成果が上がっている。



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	早期復旧を目指すこと。